

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成30年9月13日 (2018.9.13)

【公開番号】特開2017-136382(P2017-136382A)
 【公開日】平成29年8月10日 (2017.8.10)
 【年通号数】公開・登録公報2017-030
 【出願番号】特願2017-37761(P2017-37761)
 【国際特許分類】

A 6 1 B 17/34 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/34

【誤訳訂正書】

【提出日】平成30年7月24日 (2018.7.24)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

トロカールスリーブが患者の体壁を通して伸長する間に、該トロカールスリーブを有するトロカールを支持するためのトロカール支持装置であって、

トロカールへの取り付けのために配された、トロカールとは別の要素であり、

トロカールスリーブの外面で受けられるように形作られた当接部材であって、選択された位置に位置するように、トロカールスリーブの長手方向に調整可能なように配される当接部材と、

流体源によってあらかじめ決められた大きさまで膨張することができる、トロカールスリーブのまわりで伸長する少なくとも 1 つの膨張部材とを備え、

前記少なくとも 1 つの膨張部材は、当接部材から一定間隔を置いた位置でトロカールスリーブ上に取り付けられるように配され、収縮した前記少なくとも 1 つの膨張部材は、トロカールスリーブ上で、体壁の切開部位を通して体壁内に挿入可能であり、および、体壁の内面と係合するように挿入されるときに膨張可能であり、当接部材は、当接部材と前記少なくとも 1 つの膨張部材との間で体壁を維持するために適所に移動することができ、

流体源は、一定の体積を提供し、一定の大きさのみまでの膨張を可能にする、および一定の体積を伝達するための手動によって操作可能なポンプ機構であり、および

一定の体積およびポンプ機構を含む流体源は、トロカール支持装置の当接部材上にある、
 ことを特徴とするトロカール支持装置。

【請求項 2】

チューブは、トロカール支持装置上の流体源を前記少なくとも 1 つの膨張部材に接続する、ことを特徴とする請求項 1 に記載のトロカール支持装置。

【請求項 3】

チューブはトロカールのスリーブの周りに螺旋状に巻き付けられる、ことを特徴とする請求項 2 に記載のトロカール支持装置。

【請求項 4】

前記少なくとも 1 つの膨張部材は、トロカールスリーブ上へ広げることができるスリーブ部分を含む、ことを特徴とする請求項 1 乃至 3 のいずれか 1 項に記載のトロカール支持装置。

【請求項 5】

前記少なくとも 1 つの膨張部材と当接部材は、トロカールスリーブに係合し、および、それに沿って軸方向に移動することができる、共通する環部分を形成する、ことを特徴とする請求項 1 乃至 4 のいずれか 1 項に記載のトロカール支持装置。

【請求項 6】

前記共通する環部分は、展開時に、別々の膨張部材と当接部材とに分離する、ことを特徴とする請求項 5 に記載のトロカール支持装置。

【請求項 7】

ポンプは、ラッチが開放されるまで、取り除くことが必要になるまで膨張を維持するために圧縮状態で保たれるラッチを含み、ラッチが開放された際に、ポンプを収納し、膨張部材から流体の一定の体積を抽出するためのばねを備えている、ことを特徴とする請求項 1 乃至 6 のいずれか 1 項に記載のトロカール支持装置。

【請求項 8】

トロカールスリーブが患者の体壁を通して伸長する間に、トロカールスリーブを有するトロカールを支持するためのトロカール支持装置であって、

前記トロカール支持装置は、トロカールへの取り付けのために配された別の要素であり、

前記トロカール支持装置は、トロカールスリーブの外面で受けられるように形作られた当接部材を備え、

当接部材は、選択された位置に位置するように、トロカールスリーブの長手方向に調整可能なように配され、

流体源によってあらかじめ決められた大きさまで膨張することができる、トロカールスリーブのまわりで伸長する少なくとも 1 つの膨張部材を備え、

少なくとも 1 つの膨張部材は、当接部材から一定間隔を置いた位置でトロカールスリーブ上に取り付けられるように配され、その結果、収縮した前記少なくとも 1 つの膨張部材は、トロカールスリーブ上で、体壁の切開部位を通して体壁内に挿入可能であり、および、体壁の内面と係合するように挿入されるときに膨張可能であり、その結果、当接部材は、当接部材と前記少なくとも 1 つの膨張部材との間で体壁を維持するために適所に移動することができる、

流体源は、一定の体積を提供し、一定の大きさのみまでの膨張を可能にし、

流体源は、トロカール支持装置に位置付けられ、手動で圧縮可能なポンプを備え、

ポンプは、ラッチが開放されるまで、取り除くことが必要になるまで膨張を維持するために圧縮状態で保たれるラッチを含み、ラッチが開放された際に、ポンプを収納し、膨張部材から流体の一定の体積を抽出するためのばねを備えている、
ことを特徴とするトロカール支持装置。

【請求項 9】

チューブは、トロカール支持装置上の流体源を前記少なくとも 1 つの膨張部材に接続する、ことを特徴とする請求項 8 に記載のトロカール支持装置。

【請求項 10】

チューブはトロカールのスリーブの周りに螺旋状に巻き付けられる、ことを特徴とする請求項 9 に記載のトロカール支持装置。

【請求項 11】

前記少なくとも 1 つの膨張部材と当接部材は、トロカールスリーブに係合し、および、それに沿って軸方向に移動することができる、共通する環部分を形成する、ことを特徴とする請求項 8 乃至 10 のいずれか 1 項に記載のトロカール支持装置。

【請求項 12】

当接部材は、トロカールスリーブに係合するために手動で操作可能なクランプを含む環を備える、ことを特徴とする請求項 8 乃至 11 のいずれか 1 項に記載のトロカール支持装置。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0018

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0018】

1つの配置では、トロカール支持装置は、トロカールそれ自体と一体構造を形成し、その結果、それらは共通の要素として供給および使用される。しかしながら、トロカールが後半に利用可能で種類が異なるため、スリーブの一般的な形態の別の要素としてトロカール支持装置を提供することが往々にして適切である。その結果、トロカールは、患者の切開部位へ挿入するために、スリーブに取り付けられたものを挿入することができる。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0019

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0019】

したがって、好ましくは、トロカール支持装置は、トロカールへの取り付けのために配された別の要素であり、トロカール支持装置は、トロカールスリーブの外面で受けられるように形作られた当接部材を含み、当接部材は、選択された位置に位置するように、トロカールスリーブの長手方向に調整可能なように配され、前記少なくとも1つの膨張部材は、当接部材から一定間隔を置いた位置でトロカールスリーブ上に取り付けられるように配され、その結果、収縮した前記少なくとも1つの膨張部材は、トロカールスリーブ上で、体壁の切開部位を通して体壁内に挿入可能であり、体壁の内面と係合するように挿入されたときに膨張可能であり、その結果、当接部材は、当接部材と前記少なくとも1つの膨張式の部材との間で体壁を維持するために適所に移動することができる。